

本多静六博士生誕地巡りマップ

コース 約3.3Km(徒歩約1時間)

①本多静六の森—(10分)—②三箇小学校—(20分)—③宝光院—
(5分)—④本多静六生誕地記念園—(20分)— ⑤幸福寺—(5分)
—⑥生誕地



①本多静六の森



さんが
②三箇小学校



③宝光院



⑤幸福寺



⑥生誕地



④本多静六生誕地記念園



国道122号

①本多静六の森

この森は、埼玉県による「本多静六博士の森づくり」の一環として、平成20年度に整備されました。

平成20年度に開始された「本多静六博士の森づくり」は、博士が明治神宮の森を造成したときの、自然の力を生かした森づくりの考え方を取り入れて県内各地への森の整備を行うものです。

この森づくりの第1号として、博士生誕の地である旧菖蒲町が選ばれ、平成21年2月23日に植栽が行われました。

②三箇小学校

本多静六が通っていた河原井学校は、現在は三箇小学校と名前が変わりました。三箇小学校には、本多静六が植えたと伝えられる五本の松が素晴らしい形に成長しています。三箇小学校では、本多静六の偉業を讃え、教育に活用しています。小学校創立120周年記念の時には、『夢の森』を作り、100年後の皆さんへとした、“夢”を残しています。

1993年12月よりドイツ・ターラント小学校と国際交流をしています。

・本多静六博士は、ターラントにあるホルストアカデミー（現在のドレスデン工科大学）林学部に留学しています。

（補説）

・ターラント小学校＝ドイツ連邦共和国、森林の町ターラントにあるミッテルシュレー。本校の百二十周年式典には同校S. クロツツ校長より祝辞が届けられました。

③宝光院

明治6年5月、台学校が設置され、明治9年、河原井学校が移転し、明治19年、三箇・台・河原井村の合併により三箇村となり、台・三箇学校を連合して尋常小学台学校と改称、明治25年、台学校を学生改革により台尋常小学校と改称し、明治33年、三箇学校（現在の三箇小学校）へ移転となった。

現在、本堂は建替えられており、当時を偲ばせるものは見当たりません。

④本多静六生誕地記念園

博士の顕彰事業の一環として、生誕地である久喜市菖蒲町河原井の近くの旧国道122号、台地内「道のオアシス」の中に記念園があります。

園内には博士の胸像が設置されているほか、博士ゆかりのイチヨウ（日比谷公園の「首かけイチヨウ」を接ぎ木したもの）やユリノキが植えられています。また、胸像の台座には秩父市（旧大滝村）にある中津川県有林産の石が使われています。

⑤幸福寺

本多静六（折原静六）が通った学校で、明治5年（1872）に学制が公布され、明治6年幸福寺に河原井学校が設置されました。本堂が小学校の教室としてあてがわれ、学ぶことは主に漢学でした。

初めのころ静六少年は勉強をせず、本堂を遊び場にしていました。

また、幸福寺にあるサイカチの木に登って、カケスの巣を壊そうと企んだところ、木から落ちて大けがをしたこともありました。この際、静六少年は幸福寺の和尚に厳しく叱られ、「親が子と思う気持ちは鳥も人も同じであり、親に心配をかけてはいけない」という教えを胸に刻んだといいます。

河原井学校は明治9年（1876）に、現在の菖蒲町台に移り、台学校、三箇尋常高等小学校などの校名に改称しながら、現在の久喜市立三箇小学校となります。

なお、河原井学校の当時の校札を本多静六記念館に展示されています。

⑥本多静六生誕地

幸福寺の東300mの中島用水路に沿った水と緑のヘルシーロード沿いにあり、現在は門柱のみが残されており当時のかやぶき屋根の住まいはありません。